

## 終業式での「校長講話★R80物語」の後編です。

3月22日(金)に実施した終業式での「校長講話(R80物語)」の後編をお届けします。前編の最後が「そして、驚くべきことが起こりました。(次号に続く)」でした。今号は、その驚くべきことから、物語は始まります(\*^\_^\*)

### ◆終業式での「校長講話」－後編－◆ タイトル：「R80物語」

- 2017年11月、「大学入学共通テスト」の第1回試行調査(プレテスト)が実施されました。その国語の記述式問題の問3の解答方法に際して、次のような条件が示されていました。2文構成で80字以上120字以内で書くこと、2文目は「しかし」という書き出しで……。私は、鳥肌が立ちました。
- R80を考案して2年が経過した2018年5月23日、大きな舞台で発表する機会に恵まれました。全国高等学校長協会の総会・研究協議会です。全国の高校の校長先生の約半数にあたる2500名が、埼玉県の大宮ソニックシティホールに集結しました。私は、TEDのように舞台を歩きながら「アクティブ・ラーニング2018ーAL指数・R80・TO学習の考案ー」と題してプレゼンを行いました。そのプレゼン以来、全国各地から、いろいろな問い合わせをいただいています。全国にR80が広がるきっかけになりました。
- もう一つのエピソードについてお話しします。2018年3月6日、「TO学習」の取材に来てくださった(株)Findアクティブラーナーの永井充社長から、「インタビューをした4人の生徒さんが、簡潔に論理的に話すので驚きました」「なぜならという接続詞を使って話した生徒さんもいました」と言われました。その時、わかりました。主に「書く力」をつけるために考案したR80が、「話す力」の育成にもつながっていたのです。生徒の皆さんは、日常的にR80を使うことによって、自分の考えを整理して伝える力が身についたのです。確かに、最近の皆さんのプレゼンや質疑応答を聞いていると、R80的に話しているなど感じます。
- また、私は、2018年3月から「日本語の4技能」という言葉を全国に発信しています。「日本語の4技能」とは、日本語を、読む、聞く、話す、書く力です。昨年の終業式では「すべての教科で『日本語の4技能』を意識して授業を受けてください。そして日常生活においても、正しい日本語で滑舌よく語尾まではっきり話すように心がけてください」と話しました。
- ALを学力向上につなげるために、R80を考案して、約3年が過ぎました。R80は、本当に全国各地に広がっています。自分の考案したアイテムが、全国の生徒たちの「学び」に役立っていることは、たいへん嬉しいことです。最近の講演会では、「ALで幸せになる」ということを話しています。ALは生徒の幸せ、先生方の幸せ、そして世の中の幸せにもつながると考えています。
- 最後になりますが、来年度も私が皆さんの校長をつとめます。4月からもどうぞよろしくお願い申し上げます。しっかり聞いてくれて、どうもありがとうございました。



#### 「アクティブ・ラーニング」まとめ

- 1 ALが授業をかえる
- 2 ALが生徒をかえる
- 3 ALで学力向上
- 4 さらに、ALで先生方がかわる
- 5 そして、ALで幸せになる



「ALサイン」です(^\_^)!